

# 仏典講読講座

## 国際仏教学大学院大学

International College for Postgraduate Buddhist Studies

### 令和8(2026)年度 受講生募集

開講期間：令和8(2026)年5月27日(水)～令和8(2026)年11月25日(水)<全6回>

場所：国際仏教学大学院大学 大講義室

時間：午後5時30分～午後7時

講師：デレアヌ フロリン  
(国際仏教学大学院大学 教授)

『維摩経』(梵文漢訳)を読んで

『維摩経』(Vimalakīrtinirdeśa)は、インド初期大乘仏教を代表する重要な経典の一つです。

本経は般若思想の影響を受け、「空」の立場に立脚しつつ、従来の部派仏教の教義に対して辛辣な批判を加え、さらに大乘仏教の精神に基づく再解釈を提示しています。

本経の主人公であるヴィマラキールティ(維摩詰)は、深遠な智慧を備え、きわめて雄弁な在家信者(居士)として描かれています。彼は釈尊の十大弟子や主要な菩薩たちと次々に対論を行い、その見解を論破しつつ、在家主義の立場を強調し、究極的な悟りの智慧を提示します。

『維摩経』は戯曲的な手法も巧みに取り入れながら物語が展開される、きわめてユニークな経典です。その内容は多様な観点から評価され、インドのみならず東アジア全域において広く愛好されてきました。また、美術作品の主題としてしばしば取り上げられるとともに、聖徳太子の『維摩経義疏』に代表されるように、多くの注釈書の対象ともなっています。

今年度は、『維摩経』の全体構造を概観したうえで、とくに「弟子品」を取り上げ、ヴィマラキールティと舍利弗、目連、大迦葉など釈尊を代表する弟子たちとの対話を、梵文原典および漢訳資料を用いて講読したいと考えています。

#### 日程

第1回：令和8年5月27日(水)

第2回：令和8年6月24日(水)

第3回：令和8年7月29日(水)

第4回：令和8年 9月30日(水)

第5回：令和8年10月28日(水)

第6回：令和8年11月25日(水)

テキスト：適宜、配布します。

受講料：無料

定員：20名(定員になり次第、締め切りとさせていただきます。)

申込方法：住所、氏名、年齢、所属機関名を明記のうえ、電話、Fax、E-mail にて下記までお申し込みください。

※場所、時間等については、事情により変更になることがあります。

◆お問い合わせ・お申し込みは

国際仏教学大学院大学 事務局  
仏典講読講座 係

〒112-0003 東京都文京区春日2-8-9

TEL:03-5981-5271 FAX:03-5981-5283

E-mail: kokaikoza@icabs.ac.jp

URL <https://www.icabs.ac.jp>

●申込受付：

令和8(2026)年4月1日(水)から受け付けます。

最寄りの交通機関

東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」下車4番出口徒歩10分

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車1番出口徒歩12分

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」下車1番出口徒歩16分